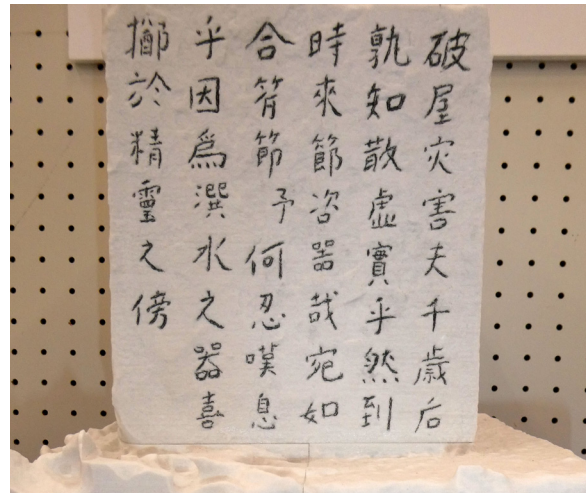


## 屋外文化財の劣化要因と保存対策に関する調査研究(ホ04)

**目的** 屋外に所在する石造・木質文化財を対象に、覆屋の機能・遺構の露出展示に関する課題として、周辺環境等の劣化要因の究明及び修復材料・技術に関する研究を行う。また、石塔など石造文化財の災害事例及び災害対策に関する基礎的調査を行う。また、現在一時保管場所での長期的な保管を余儀なくされている被災文化財に関して、その保存・修復方法に関する研究を進める。

**成果** 屋外に位置する各種の文化財の劣化状況、保存環境、保存対策について、以下の通り調査研究を進めた。

1. 和歌山県の九重慰霊碑で撮影した写真から三次元データを組み上げて三次元印刷することで、現物では解読が困難だった銘文を読み出して地域の防災意識啓発に寄与した。



三次元印刷された九重慰霊碑

2. 天草市アンモナイト館で化石面の計測を行い、これまで取り組んできた保存対策によって化石面本来の状態が取り戻されるに至ったことを確認した。
3. 南相馬市の薬師堂石仏において、過去の複数の時点で撮影されていた写真に基づいて、各撮影時点の形状を復元し、石仏の劣化の進行について検証を進めた。
4. 臼杵市の風連鍾乳洞、香美市の龍河洞など、各地の鍾乳洞で現地調査またはオンライン診療などにより現状を解析し、鍾乳石を覆って繁茂する緑色生物を軽減する方向性などについて検討を進めた。
5. 松島町の頼賢碑において、老朽化が目立つとされる、大正年間に建てられた覆屋内の現在の環境を調査し、保存施設としての覆屋の現状を評価した。

- 論文**・朽津信明ほか：「天草市アンモナイト館における緑色生物の制御」『保存科学』60 pp.85-98 21.3  
 ・朽津信明「文化財の現地保存を考える」『保存科学』60 pp.111-130 21.3  
 ・朽津信明ほか：「天草市アンモナイト館における照明調整による緑色生物の軽減」文化財保存修復学会第42回大会 紙上開催 20.7.10
- 発表**・朽津信明ほか：「三次元計測に基づく富山市大山の恐竜足跡化石の劣化評価」日本文化財科学会第37回大会 WEB開催 20.9.5-13  
 ・朽津信明ほか：「過去の写真に基づく恐竜足跡化石の風化速度の検証」日本応用地質学会2020年度研究発表会 オンライン開催 20.10.1-2
- 講演**・朽津信明：「九重の土砂災害記念碑レプリカ墨入れ式」新宮市役所 20.12.5
- 刊行物**・『屋外文化財の劣化対策に関する調査研究報告書』 21.3

**研究組織** ○朽津信明、白石明香(以上、保存科学研究センター)、前川佳文(文化遺産国際協力センター)